

JAIST産学官共創フォーラム 令和8年度 第2回定期講演会

～知って驚く！

「折り紙」から生まれる産業の可能性～

計算折り紙と、 その産業応用

2026年
10月16日
金曜日
16:00～18:00

場 所

北陸先端科学技術大学院大学
金沢駅前オフィス（ポルテ金沢 9階）
およびオンライン（Zoom）

定 員

会場（30名）／オンライン（50名）

参加費

オンライン参加 無料
会場参加

- JAIST産学官共創フォーラム
・幹事会員・特別会員・
法人会員・研究会員：無料
・それ以外の会員：1,000円
(交流会参加費含む)
- 一般の会場参加：2,000円
(交流会参加費含む)

講演1

上原 隆平 氏

北陸先端科学技術大学院大学
副学長・教授

計算折り紙とその応用



講演2

船倉 大和 氏

石塚王子ペーパーパッケージング株式会社
福崎工場 品質管理グループ 品質管理チーム 主任

産学連携で挑む脱プラスチック

～「情報媒体」へと進化する紙製カプセル

『バックボン』の挑戦～



お申込み・お問合せ

お申込みはこちらから▶

一般社団法人JAIST支援機構 事務局 jimukyoku@jaistso.or.jp

Copyright © 2020-2026 JAIST Support Organization. All Rights Reserved.



1. 講演テーマ

計算折り紙と、その産業応用

2. 開催概要

「折る」という身近な行為から生まれる、数学・コンピュータサイエンスの研究と産業への応用。本講演会では、計算折り紙の最新研究として、多面体や展開図をめぐる興味深い事例を紹介するとともに、その技術や考え方が実際の製品開発や産学連携にどのようにつながっているのかを取り上げます。研究から産業応用まで、計算折り紙が秘める新たな可能性について考えます。

3. 講演

講演1：計算折り紙とその応用

講演者：北陸先端科学技術大学院大学 副学長・教授
上原 隆平 氏

概要：計算折り紙は、計算幾何学の一分野として近年大きく発展しています。「折り紙」とはいうものの、「折り」を基本操作とする事柄はすべて研究対象であり、宇宙建築、梱包、DNAの折り問題など、幅広い応用をターゲットにする学問分野です。今回の講演では、特に多面体と展開図に関する最近の研究について紹介します。例えば小学校では、立方体の展開図が11種類あることを学びますが、正20面体の展開図が43,380種類であることは習いません。実はこの43,380種類の展開図が本当に展開図になっていることがわかったのは、2011年になってからです。また、「3種類の異なる箱が折れる1つの展開図」という多角形がありますが、こうした興味深い事実も、コンピュータの発展によって近年になってわかってきた事実です。

本講演では、こうした最近の計算折り紙の発展と、その応用例について紹介します。

講演2：産学連携で挑む脱プラスチック

～「情報媒体」へと進化する紙製カプセル

『パックポン』の挑戦～

講演者：石塚王子ペーパーパッケージング株式会社

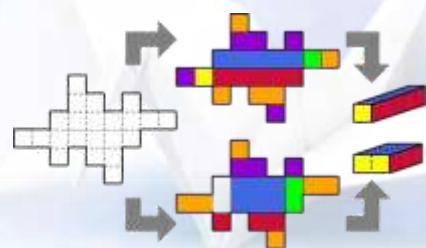
福崎工場 品質管理グループ 品質管理チーム 主任

船倉 大和 氏

概要：世界的な脱プラスチックの潮流の中、当社は飲料用紙容器の品質管理技術を応用し、紙製の立体カプセル「パックポン」を開発しました。本講演では、接着剤不要で美しい多面体を構築する技術的背景や、大学との産学連携による教育カリキュラムの開発事例をご紹介します。さらに、単なる「エコな容器」にとどまらず、表面へのQRコード印字によるデジタル領域への誘導や、多様な企業・自治体と連携するための「情報媒体（メディア）」としてパックポンを活用する新たなビジネスモデルと、紙パッケージが持つ今後の可能性についてお話しします。

主催：一般社団法人JAIST支援機構

後援：北陸先端科学技術大学院大学



お申込み・お問合せ

お申込みはこちらから▶

一般社団法人JAIST支援機構 事務局 jimukyoku@jaistso.or.jp

Copyright © 2020-2026 JAIST Support Organization. All Rights Reserved.

